

第19回「淀川水系ダム事業費等監理委員会」の議事概要について

1. 開催日時：令和6年7月29日（月）10：00～11：30
2. 開催場所：近畿地方整備局 大手前合同庁舎 1F 共用会議室
（大阪府大阪市中央区大手前3－1－41）
3. 委員：岸田 潔（京都大学大学院工学研究科 教授）
角 哲也（京都大学防災研究所水資源環境研究センター 特定教授）
野村 良一（立命館大学経済学部経済学科 教授）
◎深川 良一（立命館大学総合科学技術研究機構 招聘教授）
水草 浩一（国立研究開発法人土木研究所河道保全研究グループ 上席研究員）【欠席】
◎印は委員長（50音順・敬称略）
4. オブザーバー：滋賀県・京都府・大阪府・大阪広域水道企業団・阪神水道企業団
5. 議事概要：
委員会は委員4名の出席により、事務局から大戸川ダム建設事業、丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について、事業概要、事業進捗状況、コスト縮減項目等の説明を行い、各委員より意見及び助言を頂いた。

<大戸川ダム建設事業について>

- ・放流設備の構成については、河床部の放流設備や通砂など流水型ダムとしての特徴に加え、維持管理性も考慮の上、最適配置となるよう検討を行うこと。
- ・基礎処理については、地質情報を十分に精査し、流水型ダムとして必要な遮水性や安定性を考慮の上、工事工程に影響が生じない時期までに必要な検討を行うこと。
- ・地質の不確定要素を可能な限り排除できるよう、必要な調査を実施すること。

<丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について>

- ・特に助言なし。

（以上）